

ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。
この資料並びにコンテンツは、著作権等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記の条件でのみ利用することが出来ます。

1. お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、および使用することができます。
2. お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示および使用条件と一緒に付す必要があります。
3. お客様はこの資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社および当社の関係会社は、お客様に対してこの資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権およびその他の知的財産権をライセンスするものではありません。並びに資料およびコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。

またこの資料、並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権の表示、使用条件を遵守する必要があります。

※このコンテンツはWeb上での使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書と同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

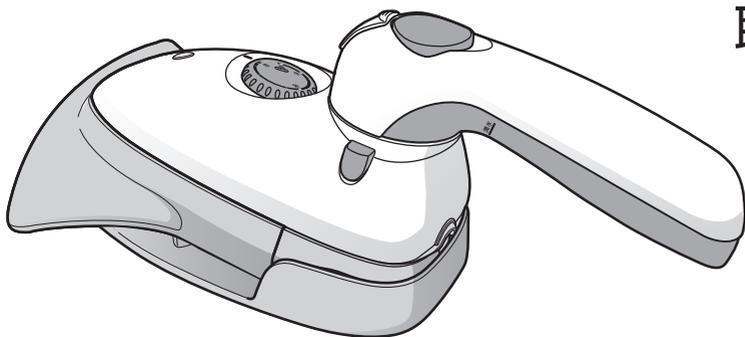
※この資料並びにコンテンツの内容は、それぞれの商品の発売時点のものです。

※デザイン、仕様は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

ハンディーアイロン&スチーマー

SA-4093

取扱説明書



- このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
- この取扱説明書は必ず保管し、必要なときにお読みください。
- この製品は一般家庭用です。業務用などにご使用にならないでください。

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。必ず記入を受けてください。

2	安全上のご注意
4	使用上のご注意とお願い
5	きれいにアイロンをかけるコツ
8	各部の名称とはたらき
9	アイロンをかける
13	お手入れする
14	故障かな?と思ったら
15	アフターサービス / 仕様

安全上のご注意

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●表示の説明



警告

「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

「傷害を負うまたは物的損害が発生することが想定される」内容です。

●図記号の説明



は、してはいけない「禁止」の内容です。



は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告



分解禁止

絶対に分解・修理・改造は行わない。発火したり、異常動作によるけがの原因になります。

修理は、お買い上げの販売店または、「お客様サービス係」にご相談ください。



濡れ手禁止

ぬれた手で使用したり、電源プラグを抜き差ししない。



感電やけがの原因になります。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。

やけど・感電・けがをする恐れがあります。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



接触禁止

使用中や使用直後は高温部（かけ面・スチームなど）に触れない。

かけ面約 190℃、スチーム約 120℃の高温となります。



強制

電源プラグのホコリなどは定期的に拭き取る。

電源プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



プラグを抜く

使用時以外は必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や事故の原因になります。



強制

定格 15A 以上、交流 100V のコンセントを単独で使う。

他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

警告



強制

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因になります。



水濡れ禁止



水場使用禁止

製品に水をつけたり、水をかけたりしない。
また、浴室内で使用しない。

ショート・感電の原因になります。



強制

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

感電・ショート・発火の原因になります。

注意



禁止

交流 100V 以外では使用しない。

火災・感電の原因になります。



禁止

人や身体および着用したままの衣類に、スチームをかけない。

やけどの原因になります。



禁止

通電したまま放置しない。

けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



禁止

絵表示より高い温度設定でアイロンかけしない。

布地を傷める原因になります。



禁止

落としたりぶつけたりしない。

感電・発火の原因になります。



禁止

引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しない。



禁止

以下のような動きはしない。

アイロンを激しく動かす。
やけど・水もれの原因になります。



禁止

製品にコードを巻きつけない。

ショート・発火することがあります。



禁止

アイロンを立てて置かない。

アイロンが倒れて、けがややけどの原因になります。使用しないときは、必ずスタンドに戻してください。



禁止

スチームボタンを連続して早く操作しない。

2秒間隔より早く操作すると、湯滴が出てやけどや衣類を汚す原因になります。



強制

製品を運ぶときは、製品が十分に冷えていることを確認する。

けがや、やけどの原因になります。



電源プラグを抜く

給水・排水時は、電源プラグをコンセントから抜く。

感電することがあります。



強制

ご使用後は、水タンクの水を抜いて保管する。

水がこぼれたり、次回のご使用時に電源を入れるとスチームや熱湯が吹き出ることがあります。



強制

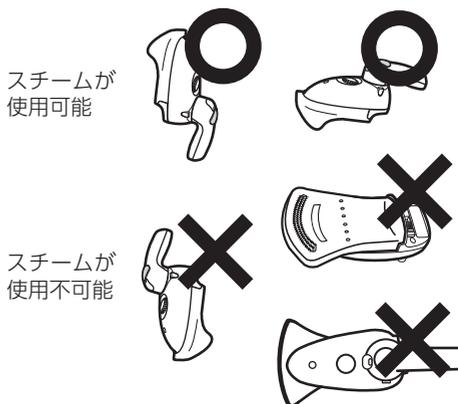
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電やショートして発火することがあります。

使用上のご注意とお願い

- アイロンがけの際、アイロン本体をアイロン台からはみださないようにしてください。スチームによるやけどの原因になります。
- アイロンがけの際、ボタン・フック・ファスナーなど固いものに直接かけないでください。かけ面のフッ素樹脂加工を傷つけます。
- スチームには上水道の水をご使用ください。
- ミネラルウォーター・整水器の水やリネンウォーターなどの香料を含んだ水などは入れないでください。水タンクの破損や衣類を汚す原因になります。
- 業務用や他の目的に使用しないでください。過負荷による故障の原因になります。
- 「カチカチ」音について
使用中に「カチカチ」と内部で音がする場合がありますが、自動温度調節器（サーモスタット）が動作している音です。異常ではありません。

- 製品の向きによっては、水タンクから水が供給されず、スチームが出ません。



繊維製品の取扱いとご使用の目安

おかけになる布地に日本工業規格（JIS）で定められた絵表示がある場合、温度設定位置との関係は下表の通りです。

絵表示と温度の関係

繊維製品の絵表示	 低	 中	 高
繊維の種類	アクリル・アクリル系・ポリウレタン・ポリプロピレン・ビニリデン	絹・毛・ナイロン・ビニロン・レーヨン（長繊維）・キュプラ・アセテート ポリエステル・トリアセテート	綿・麻・レーヨン（短繊維）・ポリノジック
温度設定位置	低	中	高 / スチーム
かけ面の温度	約 100℃	約 150℃	約 190℃
設定温度になるまでの時間	約 20 秒	約 30 秒	約 40 秒

絵表示の見かた

	指定された温度であて布をする意味です。
	指定された温度で布地の裏からかける意味です。
	アイロンかけはできません。

その他「スチーム禁止」などの表示がある場合は必ずその指示に従ってください。

- 衣類に絵表示がある場合は、絵表示に合わせてください。
- 絵表示のない場合は、繊維名に従い温度を合わせてください。混紡の場合は、低い方の繊維温度に合わせてください。
- アイロンとして使用中、アイロンを止めたり、極端にゆっくり動かしたりすると、布地に合った温度でも布地を傷めることがありますので気をつけてください。
- 熱に弱い繊維（化繊・絹・毛など）にアイロンをかけるときはあて布をするか、目立たない部分に「ためしかけ」をして異常のないことを確認してからかけてください。
- ビニロンは湿り気があると変形するおそれがあるため、必ず乾いている状態でアイロンがけをしてください。

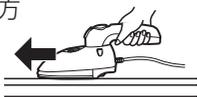
きれいにアイロンをかけるコツ

アイロンの持ちかた

片方の手でぬい目を引っ張ったり、布を押さえたりしながら両手を上手に使いましょう。

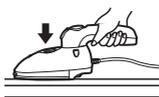
■ 軽くすべらせる

戻りジワを防ぐため、一方向に軽くかけます。



■ しっかり押さえる

ガンコなシワ、厚手の布地の折り目つけなどは、しっかり押さえます。



■ 軽く浮かせる

毛足の長い繊維やにおいとりは、軽く浮かせてスチームをあてます。



アイロンのかけかた



ワイシャツ

1. エリ



- ぬい目を引っ張りながら両端から中央に向かって。
- スプレーのりをかけたときはドライアイロンで。

2. 肩



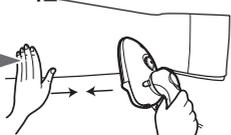
- 後ろヨークの両端を折りたんで後ろに引き寄せる。
- エリのまわりにそってかける。

3. カフス



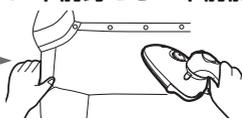
- 裏側から、ぬい目を引っ張りながら両側から中央に向かって。

4. 袖



ぬい目で折り、ぬい目を押さえてシワを伸ばし整える。

5. 下前身ごろ・下前前立て



- ヨークの部分はエリを引っ張りながら。
- ボタンのまわりはアイロンの先端を使って。

6. 後ろ身ごろ



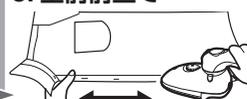
- 裏から軽くすべらせるように。
- ヨークの部分はアイロンの先端を使って。

7. 上前身ごろ



- 軽くすべらせるように。
- ヨークの部分はエリを引っ張りながら。
- ポケットは下から上にすべらせる。

8. 上前前立て



上下方向に引っ張りながら。



パンツ

ひざのたるみを取る



たるんでいる部分にらせん状にスチームをかける。



ネクタイ

結びじわ・たるみを取る



裏側からスチームをかける。

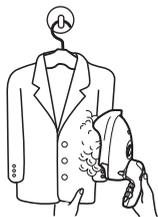
スチームのかけかた

綿や麻など生地がざっくりしたのものには、シワがスチームでは取れにくいものがあります。霧吹きをしてからドライアイロンをかける事をおすすめします。

〈使用例〉！素材別適合表（⇒7ページ）を確認のうえご使用ください。

■ アイロンかけのしにくい背広の肩などの立体的な部分の仕上げに

（スーツ、ジャケット、厚手のコートなど）



ハンガーにかけたまま端を軽く引っ張りながら、ブラシで衣類をなでるようにしながらスチームをかけます。

ガンコなシワの場合は衣類に近づけて、スチームを多めにあててください。

■ アイロンかけのむずかしい薄物の服や毛足の長いコートの仕上げに

（レースや刺繍などのついたデリケート素材など）



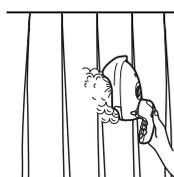
ハンガーにかけたままブラシを衣服から離してスチームをかけます。

■ 毛足の長いコートの仕上げに

スチームをかけた後、軽くブラシをかけます。

■ 移動しにくいもののくせとりに

（カーテン、カーペット、ソファなど）



■ 衣類のたたみジワなど、お出かけ前の忙しいときのシワ伸ばしに

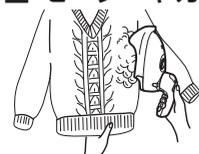
テカリや静電気の軽減にも役立ちます。

■ いやなにおいとりに



しまいこんでいた衣類の防虫剤のにおいや衣類にしみついたタバコのにおいなどは、全体的にスチームをかけます。

■ セーターやカーディガンなどをふんわり仕上げる



ブラシを衣類から離してスチームをあて、形を整えます。

そで口や首まわりなどの伸びやすい部分は、形を整えながらたっぷりとスチームをかけます。

アイロンがけのワンポイントアドバイス

● 綿や麻などには霧吹きをしましょう

霧吹きをしてからドライアイロンをかけるときれいに仕上がります。

● かけ面に衣類がからみつくときは

静電気が発生していますので、衣類の端まですべらせてからアイロンを持ち上げます。

● スプレーのりなどの仕上げ剤を使うときは

成分にシリコーンが配合されたものをお使いください。

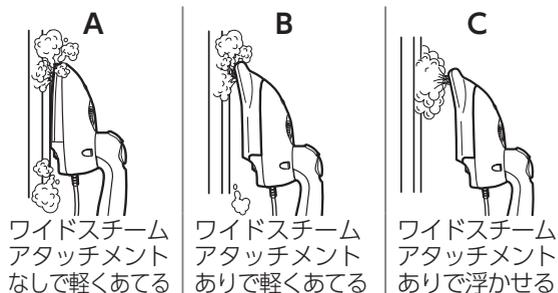
衣類にスプレーしてからひと呼吸おき、のりを衣類になじませてからかけると、アイロンがかけやすく効果的です。

洗濯物をよく乾かしてからスプレーのりをかけ、必ずドライアイロンかけをします。

< 素材別適合表 > ◎ 最適 ○ 適 △ 条件あり × 不可

素材	スチームのかけかた*			ワンポイント
	A	B	C	
ウール カシミア	×	○	◎	シワを伸ばして、ふっくらとさせたい時に。起毛性衣類は毛並みが乱れて変色したように見えることがあります。目立たないところで「ためしかけ」をしてからお使いください。
シルク	×	○	◎	シワを伸ばして、風合いを出したい時に。変色することがあります。目立たないところで「ためしかけ」をし、長い時間あてないようにお使いください。
ベルベット	×	○	◎	テカリや薄手の布の風合いを出したい時に。
ポリエステル	×	○	○	綿とポリエステルとの混紡にもお勧めです。
麻 50%以下	○	○	○	ポリエステル、綿との混紡にもお勧めです。
綿（薄手）	○	○	○	Tシャツやフリルのついたものなどに。
綿（厚手）	△	△	△	ジーンズなどの厚手の生地は不向きです。
麻 100%	×	×	×	シワが伸びにくい素材です。
革製品	×	×	×	縮んだり、変色したりするので使用できません。

* スチームのかけかた



⚠ 注意

- 大切な衣類や高価なものは目立たないところで「ためしかけ」をしてからお使いください。
- あくまでも目安です。生地によっては効果が出にくいものや出ないものもあります。

少し固めに仕上げたいときは… **（スプレーのり）** ⇒ **（アイロンかけ（ドライ））** を繰り返します。

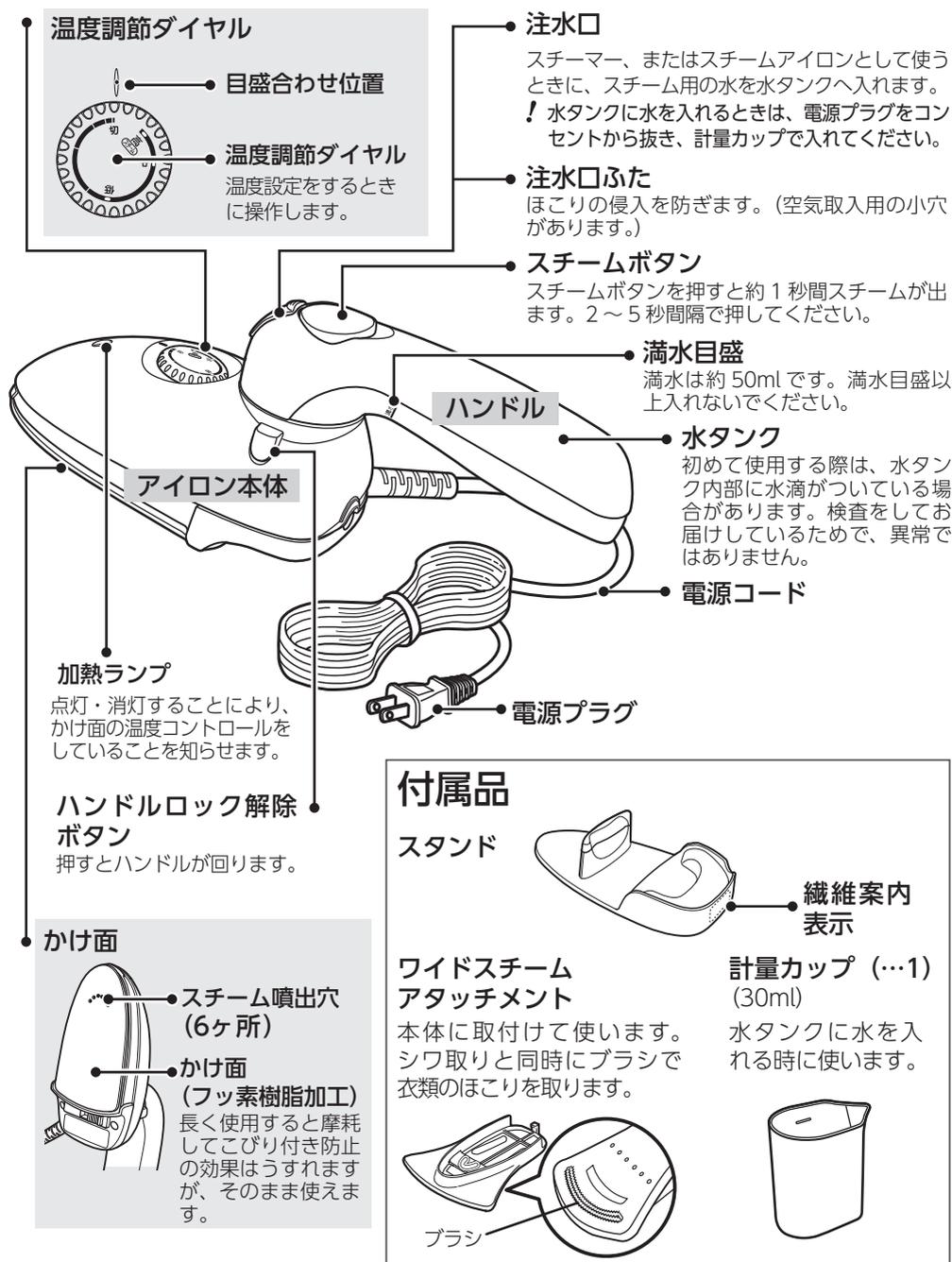
（一度に多量のスプレーのりをかけると、かけ面にこびりつく原因になります。）

- 洗たくのり付けをした生乾きの衣類には必ず、ドライアイロンをかけてください。

- アップリケや接着芯などを接着するときは必ず「あて布」をして、アイロンかけをしてください。説明書が添付されているときは、それに従ってください。

かけ面にのり成分が付着した場合は、かけ面が冷えてからその都度お手入れをしてください。のりが付着したままお使いになると、かけ面にこびりついて、取れにくくなります。また、そのままぬれた布にアイロンかけをすると、色移りする場合があります。

各部の名称とはたらき



アイロンをかける

使用前のご注意

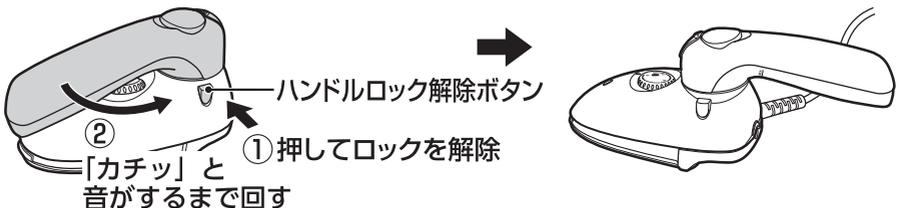
- 初めてスチームをお使いになるときは、スチームから臭いがすることがありますので、数回スチームを空噴きしてからご使用ください。
- かけ面の温度が上がらないうち（通電開始から約 40 秒以内）や、温度調節ダイヤルを「高」より低い温度に設定したときに、スチームボタンを連続で押してスチームを出すと、スチーム噴出穴から水や熱湯が噴き出したり、スチームが止まることがあります。加熱ランプが点灯から再び消灯に変わるまで約 30 秒間待ってから、スチームを出してください。
- アイロンを下向きや横向きにした状態では、スチームは出ません。必ず上向きか水平方向でご使用ください。アイロンを上向きにして、スチームボタンを 2～3 回操作してからご使用ください。（⇒ 4 ページ「使用上のご注意とお願い」参照）
- 連続してスチームを出すと、本体の表面に水滴が付着することがあります。これはスチームが結露したものです。水滴が多いときはふき取ってください。
- アイロン内にたまった水がスチームになってスチーム噴出穴から出てきます。前回使った水がアイロン内にあるときは、通電を開始してしばらくするとスチームボタンを押さなくてもスチーム噴出穴からスチームが出ることがありますので、ご注意ください。
- 着ている衣類には使用しないでください。
- スチーマーとして皮革製品や着物などには使用しないでください。変色・変形の原因になります。
- 大切な衣類や高価なものは目立たないところで、「ためしかけ」をしてから、お使いください。

お願い

- 使用中、内部で「カチカチ」音がする場合がありますが、自動温度調節器（サーモスタット）が動作している音で異常ではありません。
- スチーム噴出時に白い粉が出ることがありますが、水に含まれる鉱物質などが出たもので異常ではありません。白い粉が衣類についた場合は、払っていただくのと取れます。
- 洗濯した衣類に汚れや洗剤が残っている場合、アイロンの熱を加えると、衣類が茶色になることがあります。衣類をよくすすぎ、乾かしてからアイロンかけをしてください。

1

ハンドルロック解除ボタンを押して、ハンドルを「カチッ」と音がするまで回す。



ハンドルを戻すときもハンドルロック解除ボタンを押して回してください。

2

ドライアイロン

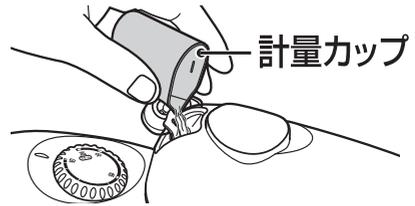
④へ進む。

スチームアイロン

スチーマー

水タンクに水を入れる。

- ① 注水口ふたを開けます。
- ② 付属の計量カップで上水道の水を入れます。
! 満水は約 50ml です。満水目盛以上に入れないでください。
- ③ 水タンクの周りについた水滴をふき取ります。
- ④ 注水口ふたをきちんと閉めます。



お願い

- 水タンクに水を入れる際には必ず計量カップをご使用ください。直接、水道から入れると水があふれ、製品内に入り感電・故障・ショート恐れがあります。
- 上水道の水をご使用ください。
- ミネラルウォーター・整水器の水やリネンウォーターなどの香料を含んだ水などは入れないでください。

3

ドライアイロン

スチームアイロン

④へ進む。

スチーマー

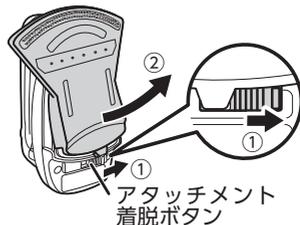
ワイドスチームアタッチメントを取付ける。

■取付けかた



- ① ワイドスチームアタッチメントの手前をアイロン本体の先端に、図のように引っかけます。
- ② 「カチン」と音がするまで矢印の方向に押し込みます。

■取外しかた



- ① アイロン本体のアタッチメント着脱ボタンを矢印の方向に動かします。
- ② ワイドスチームアタッチメントを矢印の方向に取り外します。

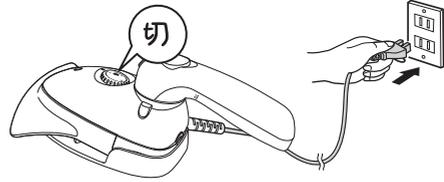


- 使用中はかけ面やワイドスチームアタッチメント部が高温になります。電源プラグを差し込む前に、ワイドスチームアタッチメントを取付けてください。
- ご使用後は、電源プラグをコンセントから抜き、ワイドスチームアタッチメントが十分冷めてから取外してください。

4

電源プラグをコンセントに差し込む。

温度調節ダイヤルを「切」にして、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



5

温度調節ダイヤルで温度を設定する。

温度調節ダイヤルを使用したい温度に合わせると、加熱ランプが点灯します。(温度調節ダイヤルが「切」の場合は、加熱ランプは点灯しません。)

ドライアイロン 繊維に合わせた温度に設定します。

衣類の絵表示に従う、もしくはスタンド後ろの繊維案内表示を参考にしてください。



スチーマー **スチームアイロン** 必ず「高」に合わせます。

「高」以外に設定すると、水もれしたり、スチームが出ないことがあります。



お願い

初めて通電したときは、多少のにおいや煙がでることがありますが、異常ではありません。ご使用にともない出なくなります。



温度調節ダイヤル「高」より低い温度に合わせてスチームボタンを押すと、スチームに湯滴が混じります。

6

使用する。 加熱ランプが点灯から消灯に切り替わると使えます。



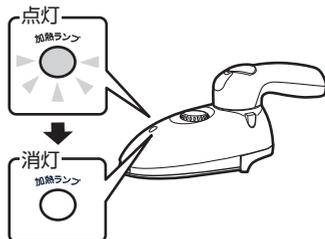
注意 製品を置く際は、本体をスタンドに置いてください。



ドライアイロン

スチームアイロン

温度設定を高い温度から低い温度に変えたときは、加熱ランプが一度点灯した後、再び消灯してからご使用ください。



スチーマー

シワをとったり、毛製品をふっくら仕上げるときに。

〈「ためしかけ」をしてからお使いください。〉

(特にウール・カシミアなどの起毛性衣類)

「ためしかけ」は、衣類の目立たない所で、かけ面を 10cm 程度離して試し、徐々に近づけて試します。



注意 ウール・カシミアなどの起毛性衣類にかけ面を近づけて使用すると、毛並みが乱れて変色（色が濃くなる）したように見えます。

7

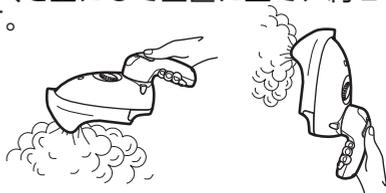
スチームアイロン

スチーマー

スチームを出す。

温度調節ダイヤルを「高」に合わせて、加熱ランプが点灯から消灯に切り替わると使用できます。

かけ面を水平、またはスチーム噴出穴を上にして垂直に立て、約 2～5 秒間隔でスチームボタンを操作します。



注意 スチームボタンを 2 秒間隔よりも早く操作すると、湯滴が出てやけどや衣類を汚す原因になります。

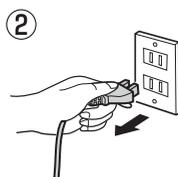
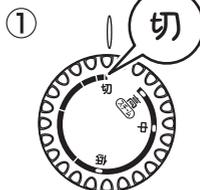
〈スチームが出にくいとき〉

- 使いはじめ…スチームボタンを 2～3 回操作してください。それでもスチームが出にくいときは、さらにスチームボタンを 10～20 回押してください。
- 水タンクの水が少なくなったとき…満水目盛まで水を入れてください。

8

使用が終わったら、電源を切る。

- ① 温度調節ダイヤルを操作して「切」にします。
- ② 電源プラグをコンセントから抜きます。



9

スチームアイロン スチーマー

水を捨てる。

注水口ふたを開け、水を捨てます。

**注意**

水タンクに水が残っているときは、かけ面内部の腐食防止のため、必ず水を捨ててください。



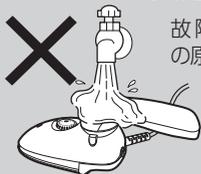
お手入れする

電源プラグをコンセントから抜き、製品が冷めてからお手入れをしてください。

禁止

- ・ 製品に水をかけないでください。

故障や感電事故の原因になります。



- ・ シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類、アルカリ性洗剤では絶対に拭かないでください。



アイロンのかけ面は金属ブラシやみがき粉、塩素系漂白剤で磨かないでください。かけ面が傷みます。

■スチーム噴出穴のつまり



つまようじなどでゴミをとりのぞき、ぬれた布でふいてください。

その後、スチーム温度に加熱してから、ご不用の布地の上で数回スチームを噴出してください。

■かけ面の汚れ

スプレーのりを使った後は、その都度ぬれた布でふいてください。



■本体の汚れ

少量の中性洗剤を水でうすめ、布に浸してからよくしぼってふき、そのあと乾いた布でふきとってください。



■ワイドスチームアタッチメント

パッキン部分についた白い粉（カルキ成分）は、都度ぬれた布で拭いてください。



故障かな？と思ったら

こんなときは？	調べるところ	処 置
熱くならない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
	布地に合った温度に設定していますか？	設定温度を適温に合わせてください。
スチームが出ない 少ない	スチームボタンをしっかりと押していますか？	スチームボタンをしっかりと押してください。
	水タンクに水が入っていますか？	付属の計量カップで水タンクの満水位置まで水を入れてください。
	水タンク内にゴミが入っていませんか？	ゴミを取り除き、きれいな上水道水を使用してください。
	スチームボタンを3～4回押しても出ませんか？	さらにスチームボタンを10～20回押してください。
	温度調節ダイヤルは「高」に設定してありますか？	温度調節ダイヤルを「高」に合わせてください。
	上水道以外の水を使用していませんか？	水タンク内の水を捨て、きれいな上水道の水を付属の計量カップで水タンクの満水位置まで入れてください。
	スチーム噴出穴にゴミや水あかがつまっていませんか？	つまようじなどで噴出穴のつまりを取り除いてください。
	アイロンを下向きや横向きにした状態で使用していませんか？	アイロンを上向きか水平方向で使用してください。(⇒4ページ)
水もれ・湯滴	低い温度でスチームボタンを押していませんか？	温度調節ダイヤルを「高」に合わせてください。
	通電直後に使用していませんか？	加熱ランプが点灯しているときは、消えるまで待ってください。
	スチームボタンを2秒間隔より早く操作していませんか？	スチーム使用時はスチームボタンを2～5秒間隔で押してください。
布地が焦げる	布地に合った温度に設定していますか？	温度設定を適温に合わせるか、あて布をしてください。
	温度設定を「高」から「低」に変えたとき、加熱ランプが一度点灯した後、再び消灯してから使用していませんか？	加熱ランプが一度点灯した後、再び消灯してから使用してください。
	「高」以外の繊維にスチームアイロンをかけるとき、あて布をしていますか？	あて布をしてください。

アフターサービス／仕様

アフターサービス

1. 保証書

- 裏表紙に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日と販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 保証期間

お買い上げ日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3. 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、なお異常があるときには電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

- 保証期間中の修理
保証書の規定により無料修理します。
製品に保証書を添えてお買い上げの販売店または「お客様サービス係」までお申し出ください。
- 保証期間がすぎている修理
修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。

4. 補修用性能部品の最低保有期間

- このハンディーアイロン&スチーマーの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後5年です。
- 性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. アフターサービスについてご不明の場合

お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にお問い合わせください。

〈修理料金のおくみ〉

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

〈修理部品について〉

修理部品は、部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。

お客様サービス係

☎（フリーダイヤル）0120 - 337 - 455
FAX (0256) 93 - 1077
お電話承り時間：平日（月曜～金曜）午前9時～午後5時
〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

仕様

電源	AC100V 50 - 60Hz	かけ面の面積(約)	72cm ²
消費電力	1000W	蒸気発生方式	滴下式
電源コード(約)	2.5m	注水量(約)	50m ^l
製品質量(約)	900g (付属品含む)		
	720g (本体のみ)		
製品寸法(約)	収納時	幅85×奥行165×高さ105mm (本体のみ)	
	使用時	幅85×奥行265×高さ105mm (本体のみ)	

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

★長年ご使用のハンディーアイロン&スチーマーの点検を！

愛情点検



ご使用の際
このようなことは
ありませんか。

- 電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。
- 電源コードが傷ついたり、電源コードを動かすと通電しなかったりする。
- こげくさい臭いがする。
- かけ面や取っ手が熱い。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。